

放課後子ども教室だよ

ぬかざわ遊友クラブ訪問

令和2年12月10日(木)訪問

○開設年度	平成19年	○参加者	対象学年：1～2年生
○活動場所	本宮市白沢公民館糠沢分館	○登録スタッフ	登録児童数：19名
○実施回数	22回	○登録スタッフ	12名 ※安全管理員・活動指導員の兼務
○実施時間	4時間 木曜日 (12:30～16:30)	○活動内容	工作や折り紙などの造形活動 おはなし会 キンボール 季節行事等

考える力を育てます

ぬかざわ遊友クラブには、今年度19名の子どもたちが参加しています。子どもたちはとても素直で、作業の説明もよく聞いて活動しています。

スタッフは地元の糠沢地区の方が多く、毎回4名のスタッフとコーディネーターとで子どもたちを支援しています。

訪問当日の活動は「クリスマスリース作り」でした。子どもたちは、あっという間に作り上げた後、宿題に取り組んだり、元気に外で遊んだりしていました。外遊びをしている子どもたちは、自分たちで遊ぶ内容を考え、遊び方を変えたり、ルールを作ったりしながら、友達とのびのびと遊んでいました。スタッフは、子どもたちが安全に遊べるようにやさしく声をかけながら、子どもたちを見守っていました。

基本的に、活動プログラムはコーディネーターが考えています。子どもたちが活動できる時間が限られているため、事前準備を行い、時間内に作品を完成させることができますようにしています。

ぬかざわ遊友クラブでは、子どもたちが自分の想像力を働かせて、試行錯誤しながら作品づくりに取り組むことができるように製作過程を工夫しています。



あいさつの大切さを伝えています

ぬかざわ遊友クラブでは、活動が終わる時に、お世話になった方やスタッフに、必ず全員で「ありがとうございました」とお礼を言います。

コーディネーターは、「感謝の言葉の輪が広がるよう、活動を通して、子どもたちにあいさつや感謝の気持ちをもつことの大切さを伝えたい」と考えながら、子どもたちに関わっています。

訪問当日も、子どもたちは和気あいあいとした温かい雰囲気の中で、友達と楽しく関わりながら活動していました。子どもたちの姿から、礼儀やあいさつを通して、友達や周囲の人への思いやりと社会性が育まれていると感じました。

コロナ禍における活動のヒント

子どもたちは、遊友クラブに来る際に学校で手を洗い、活動場所へやってきます。施設内に入る時には検温と手指消毒をしっかりと行うことで、感染症を予防しています。また、活動中は寒くても換気を行うとともに、使用後にスタッフが机・椅子の消毒を念入りに行うなど、コロナ対策をしっかりと行っています。

コーディネーターの遠藤さんは「スタッフなしには、遊友クラブの活動は成り立ちません。活動後の清掃や消毒など、多くの面で感謝しています。」と話していました。

今年度は、準備や後片付けだけでなく、消毒作業にたくさんの時間と手間をかけた上で放課後子ども教室が行われています。ぬかざわ遊友クラブでも、子どもたちが外遊びをしている間に、スタッフの方が自主的に消毒作業に取り組んでいました。コーディネーターの思いがスタッフに伝わり、共通意識をもって「チーム」として取り組むことが、子どもたちの活動状況に応じた柔軟な対応につながっていると感じました。

